



2019年1月10日

各 位

会社名 株式会社テ・ウェスタン・セラピティクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号:4576)
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也
TEL 052-218-8785

緑内障・高眼圧症治療剤「WP-1303 (H-1129)」の 国内第Ⅲ相臨床試験の開始並びにマイルストーン受領のお知らせ

当社が創製した緑内障・高眼圧症治療剤「WP-1303 (H-1129)」につき、ライセンスアウト先のかかもと製薬株式会社（以下、「かかもと製薬」）より、緑内障・高眼圧症を適応症とした国内第Ⅲ相臨床試験（以下、「本試験」）を開始した旨の連絡を受けましたのでお知らせいたします。

2018年12月4日に公表いたしました「緑内障・高眼圧症治療剤「WP-1303 (H-1129)」の国内第Ⅲ相臨床試験登録のお知らせ」のとおり、公表された「臨床試験情報」に則って国内第Ⅲ相臨床試験が行われます。

当社は本試験開始に伴い、かかもと製薬から契約に基づくマイルストーンを受領いたします。

なお、本件による2019年12月期の業績に与える影響は、2019年2月14日公表予定の「2018年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の2019年12月期業績予想に織り込みます。

WP-1303 (H-1129) について

プロテインキナーゼ阻害剤^(注1)を中心とする当社化合物ライブラリー^(注2)のリード化合物を基にして最適化された、緑内障・高眼圧症を適応症とする開発品です。

本剤は、各種プロテインキナーゼ^(注3)を阻害することにより、線維柱帯-シュレム管を介して主流出路からの房水流出を促進し眼圧を下降させることが示唆されております。

日本における権利は、2013年3月にかかもと製薬にライセンスアウトし、その後、臨床試験が進められ、2018年7月に国内後期第Ⅱ相臨床試験が良好な結果で終了いたしました。

以 上

用語解説

(注1)阻害剤

生体内の様々な酵素分子に結合して、その酵素の活性を低下若しくは消失させる物質を指します。化学物質が特定の酵素の活性を低下若しくは消失させることにより、病気の治療薬として利用されることがあります。

(注2)化合物ライブラリー

化合物ライブラリーとは、当社が長年にわたり蓄積してきた新薬候補化合物のタネとなる化合物群です。これらの化合物の一つ一つが特徴的な性質を有しており、基礎研究や新薬候補化合物発見に利用されます。

(注3)プロテインキナーゼ

ATP(アデノシン三リン酸と言われ、体内で作られる高エネルギー化合物)等、生体においてエネルギーの元となる低分子物質等のリン酸基を、タンパク質分子に転移する(リン酸化)酵素です。一般にリン酸化を触媒する酵素をキナーゼと呼び、特にタンパク質をリン酸化するキナーゼをプロテインキナーゼと言います。